

こんにちは **けんしん** です。

ごあいさつ



理事長 青木 和夫

平素は、滋賀県信用組合(けんしん)に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和元年度のディスクロージャー誌「けんしんの現況2020」を作成いたしましたので、ご高覧賜り、当組合に対するご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

このたび、第8代理事長に就任いたしました。その責任の重大さに身の引き締まる思いです。役職員とともに、地域社会、組合員の皆様、そして「けんしん」のさらなる発展のために全力を尽くす覚悟です。

令和元年度の日本経済は、年明け当初までは緩やかな回復が続くことが期待されるとされていましたが、令和2年3月には新型コロナウイルス感染症の影響により、景気判断は一転して「厳しい状況にある」とされ、先行きについても感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれています。

当組合においては平成26年12月に金融機能強化法に基づく資本支援を受け、自己資本の充実を図りました。令和元年度は、第2次経営強化計画の最終年度として、本来の特性である地域密着型金融に積極的に取り組み、地域の皆様に信頼され存在感のある金融機関を目指し、安定的な金融仲介機能の強化に取組むとともに、収益性改善に向けて全役職員が一丸となって取組んでまいりました。

その結果、預金・貸出金共、順調に推移し前期比大幅に増加する中、金融機関の本来の実力を示すコア業務純益は195百万円を計上、最終利益も263百万円を確保することができました。皆様のご支援に感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、地域の皆様に寄り添う最も身近な金融機関として、資金繰り相談・支援に努め、地域経済の活性化の一助となることを目指してまいります。今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和2年7月

理事長 青木 和夫